

東京の港区、アメリカ大使館やホテルオークラに近い、高台の一隅に靈南坂教会がありました。設計者は、明治建築史に輝かしい名を記されている辰野金吾。尖塔の鐘樓が美しいシルネットを描く、レンガ建築で、内部は木材が優しくたっぷり用いられ、大中寅二指揮する讚美歌合唱は、澄明で温かみのある声の調べを響かせて、秀逸であったといえます。かの、山口百恵・三浦友和の結婚式が行なわれた教会として、記憶にある方も多いかと思います。そして、つい最近、かつて津守真・房江御夫妻が、何とこの教会で挙式をあげられたことを知り、びっくりした次第です。

ウエディングドレスといっしょに、ステキな花婿さんを借りてきて、靈南坂教会で結婚式をあげておきたいと、切迫して思い込み出したのは、この教会が老朽化して取り壊しが決定してからのことです。残念ながら、手を尽くしても、レンタルの花婿さんも見つからず、物語の世界のように美しい、あの教会堂での、感動の嵐が吹きわたる結婚式は、夢のままに終りました。

さて、教会に付属している幼稚園も、今回、移転することになりました。引越しの記を、赤羽美代子先生に寄せていただきましたが、古い教会堂なきあと、靈南坂教会にまして、靈南坂幼稚園の、この赤羽先生こそが、靈南坂の魅力をもたらした、神につかわせられた恩寵の人となるのではないのでしょうか。

「いやだわあ、ちょっとちょっと、やめて、ほんとにやめて……」という声が聞こえてきそうですが、「よろこびの人は子どもらのための小さき太陽である。明るさを頒ち、温かみを伝え、生命を力づけ、生長を育てる……」という倉橋惣三の言葉が想い起こされてくる。「小さき太陽」の人なのです。私は、時折、日光浴をさせていただいております。(皆川)

## 幼児の教育 第八十三巻 第九号

九月号 ①

定価三〇〇円

昭和五十九年 八月二十五日 印刷  
昭和五十九年 九月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 編行人 本 田 和 子

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします